

カリキュラムマップ

経済学研究科経済学専攻 博士課程前期 R6年度以降入学生適用 (学位：修士(経済学))

ディプロマ・ポリシー (DP)

人材養成の目的および教育研究上の目的のもと、次に掲げる資質・能力を有していると認められる者に学位を授与する。

- 【知識・理解】 DP1：・・・経済学やその関連分野について、高度な専門知識を有することができる。
DP2：・・・研究テーマについて一定の研究成果を上げることができる。
- 【技能】 DP3：・・・演繹的かつ帰納的に基礎的な科学研究能力を有することができる。
DP4：・・・研究成果をわかりやすく説明できる。
- 【態度・志向性】 DP5：・・・様々な分野の基礎知識を蓄えることができる。
DP6：・・・経済現象や経済活動に強い探究心を持ち続けることができる。

*3つのポリシー DPと

特に強く関連：◎ 強く関連：○

分野	授業科目名	単位数	配当年次	期別	知識・理解		技能		態度・志向性	
					DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
基礎	ミクロ経済学基礎講義A	2	1・2	半期	◎		○			○
	ミクロ経済学基礎講義B	2	1・2	半期	◎		○			○
	マクロ経済学基礎講義A	2	1・2	半期	◎		○			○
	マクロ経済学基礎講義B	2	1・2	半期	◎		○			○
	計量経済学基礎講義A	2	1・2	半期	◎		○			
	計量経済学基礎講義B	2	1・2	半期	◎		○			
	比較経済史基礎講義A	2	1・2	半期	◎			○		○
	比較経済史基礎講義B	2	1・2	半期	◎			○		○
経済史学	経済史Ⅰ(東洋)講義A	2	1・2	半期	◎			○		○
	経済史Ⅰ(東洋)講義B	2	1・2	半期	◎			○	○	
	経済史Ⅰ(東洋)演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	経済史Ⅱ(西洋)講義A	2	1・2	半期	◎			○		○
	経済史Ⅱ(西洋)講義B	2	1・2	半期	◎			○	○	
	経済史Ⅱ(西洋)演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	経済史Ⅲ(日本)講義A	2	1・2	半期	◎			○		○
	経済史Ⅲ(日本)講義B	2	1・2	半期	◎			○	○	
	経済史Ⅲ(日本)演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	社会思想史講義A	2	1・2	半期	◎			○	○	
	社会思想史講義B	2	1・2	半期	◎			○		○
	社会思想史演習	8	1・2	通年	○	◎		◎	○	◎
理論経済学	ミクロ経済学講義A	2	1・2	半期	◎		○			○
	ミクロ経済学講義B	2	1・2	半期	○		◎			○
	ミクロ経済学演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	国際貿易理論講義A	2	1・2	半期	○	○		○		○
	国際貿易理論講義B	2	1・2	半期	○	○		○		○
	国際貿易理論演習	8	1・2	通年	○	○	○	◎		○

*3つのポリシー DPと

特に強く関連：◎ 強く関連：○

分野	授業科目名	単位数	配当年次	期別	知識・理解		技能		態度・志向性	
					DP 1	DP 2	DP 3	DP 4	DP 5	DP 6
理論経済学	理論経済学講義A	2	1・2	半期	◎		○			○
	理論経済学講義B	2	1・2	半期	○		◎			○
	理論経済学演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	ゲーム理論講義A	2	1・2	半期	◎			○		○
	ゲーム理論講義B	2	1・2	半期	◎			○		○
	ゲーム理論演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	協力ゲーム理論講義A	2	1・2	半期	◎			○		○
	協力ゲーム理論講義B	2	1・2	半期	○			◎		○
	協力ゲーム理論演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	産業組織論講義A	2	1・2	半期	◎		○			○
	産業組織論講義B	2	1・2	半期	○		◎			○
	産業組織論演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	経済数学講義A	2	1・2	半期	◎		○			○
	経済数学講義B	2	1・2	半期	○		◎			○
	経済数学演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	社会的選択理論講義A	2	1・2	半期	◎		○			○
	社会的選択理論講義B	2	1・2	半期	○		◎			○
	社会的選択理論演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	経済学史講義A	2	1・2	半期	◎				○	○
	経済学史講義B	2	1・2	半期	◎				○	○
	経済学史演習	8	1・2	通年		◎	○	○		
	経済動学講義A	2	1・2	半期	◎		○			○
	経済動学講義B	2	1・2	半期	○		◎			○
	経済動学演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	マクロ経済学講義A	2	1・2	半期	◎		○			○
	マクロ経済学講義B	2	1・2	半期	○		◎			○
	マクロ経済学演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	応用マクロ経済学講義A	2	1・2	半期	◎		○			○
	応用マクロ経済学講義B	2	1・2	半期	○		◎			○
	応用マクロ経済学演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
応用経済学・ 経済政策学	公共経済学講義A	2	1・2	半期	◎		○			○
	公共経済学講義B	2	1・2	半期	○		◎			○
	公共経済学演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	所得再分配論講義A	2	1・2	半期	◎		○			○
	所得再分配論講義B	2	1・2	半期	○		◎			○
	所得再分配論演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	証券経済論講義A	2	1・2	半期	◎		○			○
	証券経済論講義B	2	1・2	半期	○		◎			○
	証券経済論演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	米中日経済分析講義A	2	1・2	半期	◎		○			○
	米中日経済分析講義B	2	1・2	半期	○		◎			○
	米中日経済分析演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	金融論講義A	2	1・2	半期	◎		○			○
	金融論講義B	2	1・2	半期	○		◎			○
	金融論演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎

*3つのポリシー DPと

特に強く関連：◎ 強く関連：○

分野	授業科目名	単位数	配当年次	期別	知識・理解		技能		態度・志向性	
					DP 1	DP 2	DP 3	DP4	DP5	DP6
応用経済学・ 経済政策学	経済政策理論講義 A	2	1・2	半期	◎		○			○
	経済政策理論講義 B	2	1・2	半期	○		◎			○
	経済政策理論演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	財政学講義 A	2	1・2	半期	◎		○			○
	財政学講義 B	2	1・2	半期	○		◎			○
	財政学演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	労働経済学講義 A	2	1・2	半期	◎		○			○
	労働経済学講義 B	2	1・2	半期	○		◎			○
	労働経済学演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	確率過程ファイナンス講義 A	2	1・2	半期	◎		○			○
	確率過程ファイナンス講義 B	2	1・2	半期	○		◎			○
	確率過程ファイナンス演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	環境経済学講義 A	2	1・2	半期	◎		○			○
	環境経済学講義 B	2	1・2	半期	○		◎			○
	環境経済学演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	公共政策論講義 A	2	1・2	半期	◎				○	○
	公共政策論講義 B	2	1・2	半期	◎				○	○
	公共政策論演習	8	1・2	通年	○	◎		◎	○	◎
計量経済学・ 統計学	計量経済学講義 A	2	1・2	半期	◎		○			
	計量経済学講義 B	2	1・2	半期	◎		○			
	計量経済学演習	8	1・2	通年		◎		○		○
	経済時系列分析講義 A	2	1・2	半期	◎		○			○
	経済時系列分析講義 B	2	1・2	半期	○		◎			○
	経済時系列分析演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	統計学・因果推論講義 A	2	1・2	半期	◎		○			○
	統計学・因果推論講義 B	2	1・2	半期	○		◎			○
	統計学・因果推論演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	経済統計論講義 A	2	1・2	半期	◎		○			○
	経済統計論講義 B	2	1・2	半期	○		◎			○
	経済統計論演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	統計計量解析講義 A	2	1・2	半期	◎		○			○
	統計計量解析講義 B	2	1・2	半期	○		◎			○
	統計計量解析演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	オペレーションズ・リサーチ講義 A	2	1・2	半期	◎		○			○
	オペレーションズ・リサーチ講義 B	2	1・2	半期	○		◎			○
	オペレーションズ・リサーチ演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎

行動経済学・ 地域科学	社会経済学講義A	2	1・2	半期	◎			○		○
	社会経済学講義B	2	1・2	半期	◎			○		○
	社会経済学演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	アジア経済文化相関論講義A	2	1・2	半期	◎			○		○
	アジア経済文化相関論講義B	2	1・2	半期	◎			○		○
	アジア経済文化相関論演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	○
	社会工学講義A	2	1・2	半期	◎		○			○
	社会工学講義B	2	1・2	半期	○		◎			○
	社会工学演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	都市情報論講義A	2	1・2	半期	◎		○			○
	都市情報論講義B	2	1・2	半期	○		◎			○
	都市情報論演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	都市モデル解析講義A	2	1・2	半期	◎		○			○
	都市モデル解析講義B	2	1・2	半期	○		◎			○
	都市モデル解析演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	都市システム解析講義A	2	1・2	半期	◎		○			○
	都市システム解析講義B	2	1・2	半期	○		◎			○
	都市システム解析演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎
	地域経営論講義A	2	1・2	半期	◎		○			○
	地域経営論講義B	2	1・2	半期	○		◎			○
地域経営論演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎	
データサイエンス講義A	2	1・2	半期	◎		○			○	
データサイエンス講義B	2	1・2	半期	○		◎			○	
データサイエンス演習	8	1・2	通年	○	◎	○	◎	○	◎	

*3つのポリシー DPと
特に強く関連：◎ 強く関連：○

分野	授業科目名	単位数	配当年次	期別	知識・理解		技能		態度・志向性	
					DP 1	DP 2	DP 3	DP 4	DP 5	DP 6
非専修	租税論講義A	2	1・2	半期	○			○		◎
	租税論講義B	2	1・2	半期		○		○		◎
	景気変動論講義A	2	1・2	半期	○			○		◎
	景気変動論講義B	2	1・2	半期		○		○		◎
	農業経済学講義A	2	1・2	半期	○			○		◎
	農業経済学講義B	2	1・2	半期		○		○		◎
	企業システム論講義A	2	1・2	半期	○			○		◎
	企業システム論講義B	2	1・2	半期		○		○		◎
	数理統計講義A	2	1・2	半期	○			○	◎	
	数理統計講義B	2	1・2	半期		○		○	◎	
	経済学特設講義Ⅰ	2	1・2	半期					○	◎
	経済学特設講義Ⅱ	2	1・2	半期					○	◎
	経済学特設講義Ⅲ	2	1・2	半期					○	◎
	経済学特設講義Ⅳ	2	1・2	半期					○	◎
	経済学特設講義Ⅴ	2	1・2	半期					○	◎
	経済学特設講義Ⅵ	2	1・2	半期					○	◎
	経済学特設講義Ⅶ	2	1・2	半期					○	◎
	経済学特設講義Ⅷ	2	1・2	半期					○	◎
	経済学特設講義Ⅸ	2	1・2	半期					○	◎
	経済学特設講義Ⅹ	2	1・2	半期					○	◎

①②. 修士学位申請のための要件

①. 在籍期間としては、大学院に2年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする：ディプロマ・ポリシー（DP）に掲げる知識・理解・技能・態度・指向性などの資質・能力を有していると認められる者に、修士（経済学）の学位が授与される。

②. 単位要件としては、合計30単位以上を次の区分①②③によって修得しなければならない。

① 学生は、1つの演習科目を選定し、当該科目を専修科目として、専修科目の演習8単位

② 主要科目の講義及び特修科目のうちから22単位以上；ただし、基礎分野のうちからの4単位以上の修得を含む

③ 指導教員が必要と認めた場合は、その担当教員の承認を受け、8単位を限度に②の修得に算入できる

③. 分野・科目・授業形態等の説明

- ・カリキュラムは、基礎分野と専門分野とから構成され、後者は、経済史学、理論経済学、応用経済学・経済政策学、計量経済学・統計学、行動経済学・地域科学の5つの分野からなる：学生は、自ら研究課題を決め、各分野の科目群から履修科目を編成しながら、研究成果をまとめるための修士の学位論文は、専修科目に関して提出することになる。
- ・主要科目のうちから一つの演習科目を選択し、これを学生の専修科目とする：専修科目担当者を指導教員とし、授業科目の選択、学位論文の作成、その他研究一般について、その指導を受ける必要がある。例えば、

研究科目（指導教員による対面指導）・・・経済学やその関連分野について、高度な専門知識を身に付けるばかりでなく、研究テーマについて一定の研究成果を上げることができる。そして、専修科目の問題点について、演繹的かつ帰納的に基礎的な科学的研究能力を身に付けることができる。さらには、研究成果を公表するために必要なプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を身に付けることができる；一方、講義科目（他教員の講義形式授業など）・・・経済現象や経済活動により深い探究心を持ち続けながらも、専門的な枠にとらわれない幅広い分野への基礎知識を備えることに取り組む意欲と倫理観を伴う姿勢まで身に付けることができる。

④. 年次ごとのスケジュール

（1年次）・・・新入生ガイダンスを受け、指導教員から論文作成に関するアドバイスを受けながら、文献調査や研究報告会における討論などを通じて研究の背景にある情報を収集し、研究テーマの絞り込みを開始する。研究中間報告書の提出などを通じて、指導教員から評価や助言・指導を受け、研究を進めていく上での問題点を明らかにするとともに、その解決方法について検討する。

（2年次）・・・1年次の総括を踏まえ、必要に応じて研究計画の見直しを行う。専修科目に関する学位論文のテーマと研究計画書を提出する。そこでは、研究成果を報告し、研究成果をまとめてゆくプロセスを学ぶことを、指導教員とともに確認する。なお、一定レベル以上の研究成果が得られた場合には、学会発表や論文投稿を行い、広く内外の評価を受ける。専修科目に関する学位論文の題目を提出し、副査を決定して、学位論文を作成してゆく。また、その作成に際しては、指導教員から内容および構成に関する具体的な指導を受けた上で、学位論文を提出する。修士論文発表会で研究成果を発表し、主査または副査もしくは参加者の方々からの質疑に答える。

カリキュラムマップ

経済学研究科経済学専攻 博士課程後期 R6年度以降入学生適用 (学位：博士(経済学))

ディプロマ・ポリシー (DP)
 人材養成の目的および教育研究上の目的のもと、次に掲げる資質・能力を有していると認められる者に学位を授与する。

【知識・理解】 DP1：・・・経済学やその関連分野の先進的領域について高度な専門知識を有することができる。
 DP2：・・・研究テーマについて独創的な研究成果をあげることができる。

【技能】 DP3：・・・独立した研究者として独創的な研究を行うためにも必要な高度の科学的研究能力を有することができる。
 DP4：・・・研究成果を学会などで明快に説明できる。

【態度・志向性】 DP5：・・・様々な研究を通して、社会にも貢献できるような意思を持ち続けることができる。

*3つのポリシー DPと
 特に強く関連：◎ 強く関連：○

部門	授業科目名	単位数	配当年次	期別	知識・理解		技能	態度・志向性	
					DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
経済学史	経済学史特別研究A	4	1・2・3	通年	◎	○			
	経済学史特別研究B	4	1・2・3	通年		◎	○		
	経済学史特別研究C	4	1・2・3	通年			◎	○	
	経済学史特別研究D	4	1・2・3	通年		◎	○		
	経済学史特別研究E	4	1・2・3	通年			◎	○	
	経済学史特別研究F	4	1・2・3	通年				◎	○
社会経済学	社会経済学特別研究A	4	1・2・3	通年	◎	○			
	社会経済学特別研究B	4	1・2・3	通年		◎	○		
	社会経済学特別研究C	4	1・2・3	通年			◎	○	
	社会経済学特別研究D	4	1・2・3	通年		◎	○		
	社会経済学特別研究E	4	1・2・3	通年			◎	○	
	社会経済学特別研究F	4	1・2・3	通年				◎	○
経済数学	経済数学特別研究A	4	1・2・3	通年	◎	○			
	経済数学特別研究B	4	1・2・3	通年		◎	○		
	経済数学特別研究C	4	1・2・3	通年			◎	○	
	経済数学特別研究D	4	1・2・3	通年		◎	○		
	経済数学特別研究E	4	1・2・3	通年			◎	○	
	経済数学特別研究F	4	1・2・3	通年				◎	○
社会工学	社会工学特別研究A	4	1・2・3	通年	◎	○			
	社会工学特別研究B	4	1・2・3	通年		◎	○		
	社会工学特別研究C	4	1・2・3	通年			◎	○	
	社会工学特別研究D	4	1・2・3	通年		◎	○		
	社会工学特別研究E	4	1・2・3	通年			◎	○	
	社会工学特別研究F	4	1・2・3	通年				◎	○
都市モデル解析	都市モデル解析特別研究A	4	1・2・3	通年	◎	○			
	都市モデル解析特別研究B	4	1・2・3	通年		◎	○		
	都市モデル解析特別研究C	4	1・2・3	通年			◎	○	
	都市モデル解析特別研究D	4	1・2・3	通年		◎	○		
	都市モデル解析特別研究E	4	1・2・3	通年			◎	○	
	都市モデル解析特別研究F	4	1・2・3	通年				◎	○

*3つのポリシー DPと
特に強く関連：◎ 強く関連：○

部門	授業科目名	単位数	配当年次	期別	知識・理解		技能	態度・志向性	
					DP 1	DP 2	DP 3	DP 4	DP 5
オペレーションズ・リサーチ	オペレーションズ・リサーチ特別研究A	4	1・2・3	通年	◎	○			
	オペレーションズ・リサーチ特別研究B	4	1・2・3	通年		◎	○		
	オペレーションズ・リサーチ特別研究C	4	1・2・3	通年			◎	○	
	オペレーションズ・リサーチ特別研究D	4	1・2・3	通年		◎	○		
	オペレーションズ・リサーチ特別研究E	4	1・2・3	通年			◎	○	
	オペレーションズ・リサーチ特別研究F	4	1・2・3	通年				◎	○
ゲーム理論	ゲーム理論特別研究A	4	1・2・3	通年	◎	○			
	ゲーム理論特別研究B	4	1・2・3	通年		◎	○		
	ゲーム理論特別研究C	4	1・2・3	通年			◎	○	
	ゲーム理論特別研究D	4	1・2・3	通年		◎	○		
	ゲーム理論特別研究E	4	1・2・3	通年			◎	○	
	ゲーム理論特別研究F	4	1・2・3	通年				◎	○
経済時系列分析	経済時系列分析特別研究A	4	1・2・3	通年	◎	○			
	経済時系列分析特別研究B	4	1・2・3	通年		◎	○		
	経済時系列分析特別研究C	4	1・2・3	通年			◎	○	
	経済時系列分析特別研究D	4	1・2・3	通年		◎	○		
	経済時系列分析特別研究E	4	1・2・3	通年			◎	○	
	経済時系列分析特別研究F	4	1・2・3	通年				◎	○
都市システム解析	都市システム解析特別研究A	4	1・2・3	通年	◎	○			
	都市システム解析特別研究B	4	1・2・3	通年		◎	○		
	都市システム解析特別研究C	4	1・2・3	通年			◎	○	
	都市システム解析特別研究D	4	1・2・3	通年		◎	○		
	都市システム解析特別研究E	4	1・2・3	通年			◎	○	
	都市システム解析特別研究F	4	1・2・3	通年				◎	○
米中日経済分析	米中日経済分析特別研究A	4	1・2・3	通年	◎	○			
	米中日経済分析特別研究B	4	1・2・3	通年		◎	○		
	米中日経済分析特別研究C	4	1・2・3	通年			◎	○	
	米中日経済分析特別研究D	4	1・2・3	通年		◎	○		
	米中日経済分析特別研究E	4	1・2・3	通年			◎	○	
	米中日経済分析特別研究F	4	1・2・3	通年				◎	○
社会的選択理論	社会的選択理論特別研究A	4	1・2・3	通年	◎	○			
	社会的選択理論特別研究B	4	1・2・3	通年		◎	○		
	社会的選択理論特別研究C	4	1・2・3	通年			◎	○	
	社会的選択理論特別研究D	4	1・2・3	通年		◎	○		
	社会的選択理論特別研究E	4	1・2・3	通年			◎	○	
	社会的選択理論特別研究F	4	1・2・3	通年				◎	○
応用マクロ経済学	応用マクロ経済学特別研究A	4	1・2・3	通年	◎	○			
	応用マクロ経済学特別研究B	4	1・2・3	通年		◎	○		
	応用マクロ経済学特別研究C	4	1・2・3	通年			◎	○	
	応用マクロ経済学特別研究D	4	1・2・3	通年		◎	○		
	応用マクロ経済学特別研究E	4	1・2・3	通年			◎	○	
	応用マクロ経済学特別研究F	4	1・2・3	通年				◎	○
特修科目	経済学特別講義A	2	1・2・3	半期				○	◎
	経済学特別講義B	2	1・2・3	半期				○	◎
	経済学特別講義C	2	1・2・3	半期				○	◎
	経済学特別講義D	2	1・2・3	半期				○	◎
	経済学特別講義E	2	1・2・3	半期				○	◎
	経済学特別講義F	2	1・2・3	半期				○	◎
	経済学特別講義G	2	1・2・3	半期				○	◎
	経済学特別講義H	2	1・2・3	半期				○	◎
	経済学特別講義I	2	1・2・3	半期				○	◎
	経済学特別講義J	2	1・2・3	半期				○	◎
	経済学特別講義K	2	1・2・3	半期				○	◎

経済学特別講義L	2	1・2・3	半期				○	◎
経済学特別講義M	2	1・2・3	半期				○	◎
経済学特別講義N	2	1・2・3	半期				○	◎

①②. 博士学位申請のための要件

①. 在籍期間としては、大学院に3年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、研究業績や博士論文の審査の評価を受けることとする；ただし、優れた研究業績をあげた者については、1年以上在学すれば足りるものとする：ディプロマ・ポリシー（DP）に掲げるような知識・理解・技能・態度・指向性などの資質・能力を有していると認められる者に、博士（経済学）の学位が授与される。

②. 単位要件としては、合計28単位を次の区分①②によって修得しなければならない。

① 学生は、1つの専修部門を選定し、当該研究指導科目を専修科目として、24単位

② 専修科目のほか、特修科目のうちから2科目4単位以上

③ ①②の修得単位に算入不可だけど、指導教員が必要と認めた場合は、専修部門や専修科目以外の研究指導科目に限らず、博士課程前期における主要科目（講義）や特修科目の受講が可能

③. 部門・科目・授業形態等の説明

・カリキュラムは、専修部門や専修科目として、経済史学特別研究ABCDEF、社会経済学特別研究ABCDEF、経済数学特別研究ABCDEF、都市モデル解析特別研究ABCDEF、ゲーム理論特別研究ABCDEF、都市システム解析特別研究ABCDEF、米中日経済分析特別研究ABCDEF、社会的選択理論特別研究ABCDEF、応用マクロ経済学特別研究ABCDEFなどから構成され、特修科目としては、経済学特別講義ABCDEFGHIJKLなどからなる：学生は、自ら被研究指導科目を決め、各部門の専修科目群と特修科目群を履修した上で、研究成果をまとめるための博士の学位論文は、専修部門や専修科目について提出することになる。

・専修部門のうちから一つの被研究指導科目を選択し、これを学生の専修科目とする：研究指導担当者を指導教員とし、特修科目の選択、学位論文の作成、その他研究一般について、その指導を受ける必要がある。例えば、研究科目（指導教員による対面指導）・・・経済学やその関連分野の先進的領域について、より高度な専門知識を身に付けるばかりでなく、研究テーマについて独創的な研究成果を上げることができる。なお、独立した研究者として独創的な研究を行うためにも必要な高度の科学的研究能力を有することができる。また、研究成果を学会などで明快に説明するために必要なプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を身に付けることができる；一方、特修科目（他教員の講義形式などの授業）・・・経済現象や経済活動により深い探究心を持ち続けながらも、専修部門的な枠にとらわれない様々な研究を通して、社会にも貢献できるような意思ばかりでなく、取り組む意欲と倫理観を伴う姿勢まで身に付けることができる。

④. 年次ごとのスケジュール

(1年次)・・・ガイダンスを受ける。そして、指導教員の指導のもと、研究の独創性や学術的意義を考慮しながら、文献調査などによって研究の背景にある情報を収集しつつ、指導教員との綿密な議論の下に、研究成果を蓄積していく。なお、5月上旬には、学位論文のテーマと研究計画書を提出する。また、10月上旬には研究進捗状況報告書を提出する。そこで、指導教員から評価や助言・指導を受け、研究を進めていく上での問題点を明らかにするとともに、その解決方法について検討する。そして、まとまった成果が得られたところで、学会等で積極的に発表し、広く内外の評価を受ける。

(2年次)・・・1年次の研究経過を踏まえ、必要に応じて研究計画の見直しを行う。学位論文の提出に向け、5月上旬と10月上旬には引き続き、研究進捗状況報告書を提出する。そして、指導教員との綿密な議論を重ねて、研究内容にフィードバックしていく。また、学会等で研究成果を積極的に発表し、広く内外の評価を受けるとともに、専門の学術誌に論文投稿を行い、査読審査を経験する。

(3年次)・・・研究を進める中で引き続き、学会や専門の学術誌に研究成果を発表し、広く内外の評価を受ける。また、専修部門や専修科目に関する学位論文の提出に向け、5月上旬には引き続き、研究進捗状況報告書を提出する。最後は、これまでの研究業績及び成果をまとめ、学位論文を作成する。そして、申請書類提出締め切りの3ヵ月前までに事前発表（プロポーザル）を実施する。さらに、指導教員の承認を経て、専修部門や専修科目に関する学位論文を提出し、学位審査請求を行う。なお、その学位論文の作成に際しては、引き続き、主査または副査から内容及び構成に関する具体的な指導を受ける。翌年1月末までには、博士学位申請論文発表会（公聴会）（最終試験）を行う。そこで、研究成果を総括し、主査または副査もしくは参加者の方々からの質疑に答える。